

令和3年度 立山町社会福祉協議会事業報告

2025年には、国民の4人に1人が75歳以上という超高齢化社会を迎え、医療や介護の需要がますます高まると言われている中で、人口減少・核家族化も着実に進行しており、各分野を支える人材不足や仕組みについては引き続き懸念されています。

このような状況において、立山町社会福祉協議会は第3次立山町地域福祉活動計画（2018～2022年度）に基づき、“誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる支え合いのまちづくりを目指し”町の「立山町地域福祉計画」との連携を図りながら、地域福祉の拠点として高齢福祉、障害者福祉、児童福祉それぞれの分野で事業を進めてきました。

もちろん、新型コロナウイルスの感染拡大により、感染予防対策を講じながら何より安全面を最優先とした上で、規模を縮小した事業実施や事業中止を余儀なくされ、当初の計画目標に至らなかった事業も中にはありました。しかしながら、様々な制限がある中で、地域や関係機関の皆様のご支援やご協力を賜りながら、効果的・効率的な事業推進に努め可能な限り事業実施することができました。

コロナ禍における地域のコミュニティ力低下が危惧される中で、見守り活動の重要性が再認識され、「ふれあい活動事業」や「ケアネット事業」については、各地区でも様々な工夫を凝らしながら、できる限りの事業実施にご協力いただきました。さらに、地域の福祉力向上の一手段であるボランティア活動の推進については、情報の発信に努めると共に、将来を担う子ども達の福祉理解を広めて福祉教育を推進するため、「福祉教育サポーター」の養成確保に努めてまいりました。

令和3年度も地域住民の活動拠点として、多様化する福祉ニーズを的確にとらえて対応すべく、関係機関との連携や協働により、① 地域福祉活動推進 ② 在宅福祉サービスの推進 ③ 総合的な相談援助 ④ ボランティア活動の推進 ⑤ 福祉教育の推進 ⑥ 高齢者福祉事業の推進 ⑦ 日常生活自立支援事業の推進 ⑧ 出逢い応援事業 の他 ⑨ 地域福祉サービス向上を見据えた一部の事業事務の効率化（ICT化）、⑩ 家庭で余っている食品を福祉活動や生活支援に活用するフードドライブ事業を積極的に展開してまいりました。

主な事業等の取り組みについては、次のとおりです。

1. 法人運営事業・その他の事業

(1) 法人運営、役員活動事業

5月	令和2年度会計監査	5月11日	元気交流ステーション
5月	理事会	5月27日	〃
6月	評議員選任・解任委員会	6月4日	〃
6月	理事会	6月17日	〃
6月	評議員会	6月17日	〃
8月	理事会	8月25日	文書審議
10月	理事会	10月1日	元気交流ステーション
3月	理事会	3月2日	文書審議
3月	理事会	3月29日	元気交流ステーション
3月	評議員会	3月29日	〃
3月	評議員選任・解任委員会	3月31日	文書審議

(2) 共同募金活動、日赤事業、立山善意銀行事務、町遺族会事務

(3) 社会福祉協議会ホームページの開設、運営

ページビュー数 38,226回

(4) フードドライブ事業 ※日赤立山町分区、町法人連絡会との共催

・R3 夏季フードドライブ

食品募集 8月2日～8月20日 社会福祉協議会窓口

個人27名、団体4団体より689点の食品を受付

食品配布会 8月29日 元気交流ステーション

食品セット39袋を21世帯へ配布

・R3 冬季フードドライブ

食品募集 12月1日～12月15日 社会福祉協議会窓口

個人51名、団体4団体より1220点の食品を受付

その他、町社会福祉協議会活動補助金にて食品セットを約200世帯分準備

※一部は備蓄 (袋麺、レトルトカレー、FD味噌汁)

食品配布会 12月19日 元気交流ステーション

食品セット243袋を102世帯へ配布

個別配布 12月20日～12月28日 社会福祉協議会窓口

食品セット70袋を40世帯へ配布

※上記期間以外は、生活困窮者等へ随時配布

2. 企画広報事業

令和3年度立山町社会福祉協議会表彰式において、これまで福祉の推進に功績のあった個人と団体を表彰し、より多くの町民が福祉について考える機会とした。また、記念講演会を開催し、ボランティアや福祉活動に関する理解促進を図った。

立山町社会福祉協議会表彰 11月13日 元気交流ステーション 社会福祉事業功労8名・1団体

記念講演会 演題「誰もがつながり・寄り添う地域社会をめざして

～障害者や引きこもりを抱える方へのかかわりを通して～

講師 NPO 法人むげん 理事長 門田 晋 氏

※第5回福祉教育サポーター講座と共催

3. 地域福祉推進事業

(1) 地域総合福祉推進事業（ふれあい型・ケアネット型）への助成、活動強化に努めた。

地区事務局会議の開催

・第1回 地区社協事務局会議 4月26日 元気交流ステーション

・第2回 地区社協事務局会議 7月 6日 //

・第3回 地区社協事務局会議 12月 9日 //

・第4回 地区社協事務局会議 3月 4日 //

ケアネット事業活動実績

地区社協を窓口として、支援を必要とする方や世帯を対象に、地域の支え合いによる見守り活動等を行った。

令和3年度:実施地区数 10地区 援助対象者 159名

	活動参加者数	291名
	訪問等活動延べ回数	11,951回
令和2年度:実施地区数	10地区	
	援助対象者	147名
	活動参加者数	281名
	訪問等活動延べ回数	11,706回

サロン事業活動実績

ふれあいいきいきサロン

地区社協を中心にふれあいいきいきサロンを開設し、高齢者の生きがいや社会参加意欲を高めた。

令和3年度：延べ419回 参加者延べ 6,786名

令和2年度：延べ348回 参加者延べ 5,707名

子育てサロン

地区社協単位で子育てサロンを開設し、主に未就所（園）児と家族を対象に、子育て期の不安の解消や情報交換など子育て支援を行った。

令和3年度：延べ48回 参加者延べ 1,102名

令和2年度：延べ43回 参加者延べ 960名

(2) ケアネットセンター運営事業

- ・実施地区検討会・報告会等参加 10回
- ・立山町ケアネット活動全体検討会 11月24日 元気交流ステーション 参加者29名
立山町内のケアネットリーダー・メンバーを対象に、ケアネット活動の現状や課題の共有、情報交換の場とし、活動推進を図る。
テーマ：「ケアネットを中心としたこれからの地域福祉活動」
助言講師：金城大学 社会福祉学部 教授 内 慶瑞氏
- ・町内居宅介護支援事業所連絡会ケース検討会等出席 12回
- ・個別ケースの相談や会議への出席・開催 34回

(3) 福祉人材育成・支援事業

〈ふれあい活動員の配置〉

ふれあい活動員（福祉協力員）を62名配置し、サロン活動やケアネット活動への実施・協力を行った。

- ・第1回ふれあい活動員研修会（福祉教育サポーターと合同研修会）

6月2日 元気交流ステーション 参加者36名

講義：「多様化する支え合いマップづくりとその活用

～災害時や緊急時への対応に向けて～

講師：合同会社HUGKUMI 代表社員 長井一浩氏

- ・第2回ふれあい活動員研修会（まちづくり研修会との合同）

2月1日 元気交流ステーション 延期 4月4日開催へ

〈ふれあいいきいきサロン・子育てサロン運営に伴う協力者との連携〉

各地区のふれあいいきいきサロン及び子育てサロンの協力者を対象に連絡研修会を行った。

- ・ふれあいいきいきサロンリーダー及び子育てサロンリーダー合同研修会

6月18日 元気交流ステーション 参加者32名

テーマ：「コロナ禍におけるサロン活動のあり方について

～活動者間の交流及び情報交換をとおして～

(4) 地域福祉活動計画の推進

2018年度～2022年度の5ヵ年を計画期間とする第3次地域福祉活動計画の推進委員会を設置し、事業の点検・評価を行う仕組みを検討した。

- ・地域福祉活動計画推進委員会 5月27日 元気交流ステーション 参加者 12名
- ・アンケート調査 7月～9月 全10地区で実施
- ・福祉懇談会（意見聴取） 10月11日～11月21日 全10地区巡回 町立公民館等
- ・令和3年度：事務局内検討会（月1回）

(5) ふれあい総合相談事業の実施

弁護士等の専門相談、民生委員児童委員による心配ごと相談等の一般相談を実施した。また事務局職員が相談援助を随時行った。町広報や社協だより「そよかぜ」に相談センターの相談日を掲載し広報に努めた。心配ごと相談員及び職員を対象に研修会を開催した。

- ・心配ごと相談員等研修会 10月20日
（行政相談員、権擁護委員、生活支援員と合同）

講義：「精神疾患を抱える方へのやさしい相談対応」

講師：合同会社HUGKUMI 小島 寛氏

元気交流ステーション 参加者18名

- ・相談件数 法律相談 43件 心配ごと相談 6件 職員対応相談39件

(6) 地域公益活動への支援

町内の法人相互間の連携及び各法人それぞれがもつサービスとの連携等により、地域への貢献活動を推進するため、立山町社会福祉法人連絡会を設立した。情報や課題を共有化し、協働による活動を積極的に行った。

- ・法人連絡会の開催 3回
- ・福祉教育の推進（福祉教育サポーター養成講座講師）に伴う研修会の開催 1回
10月22日 福祉教育サポーターと合同研修 元気交流ステーション 参加者34名
講義「立山町社会福祉法人連絡会の来し方行く末」
講師：立山町社会福祉協議会 前会長 清水清信氏

- ・災害時の体制整備

フードドライブの取り組み（法人運営事業と連携）

法人連絡会として取り組みの周知及び協力

（食品の提供、当日の運営協力等）

第1回 8月29日（日） 元気交流ステーション

第2回12月19日（日） //

- ・福祉人材の育成

3月8日 合同就職説明会の開催

4. 助成事業

社会福祉団体等 5 団体に活動費の助成を行った。

5. 在宅福祉サービス推進事業

(1) 高齢者外出支援サービスの実施

高齢者で心身の障がい及び疾病等の理由により日常的に車いすを利用している方に対し、車両と運転手を派遣し医療機関への外出支援サービスを行った。

登録者数 3名 利用延べ日数 22日 利用延べ回数 26回

6. ボランティア活動事業

(1) ボランティアコーディネーター設置事業 ボランティアセンター相談件数 527件

(2) ボランティア活性化事業

ボランティアに関する情報を社協だより「そよかぜ」の紙面や町内数か所に設置した掲示板で紹介した。また、ボランティアセンター運営委員を委嘱し、運営委員会を開催することで、事業運営の推進を図った。

(3) 調査研究事業

地域の実情に応じたボランティア活動・地域福祉活動を推進していくために、地域のニーズや課題を把握し、それらに関連したボランティア活動等について理解を深めることを目的とする。本年は、コロナ禍における新たな生活様式や感染予防をテーマにボランティア活動の在り方について考える。

講義 「知っておきたい感染症の知識と対策～新型コロナウイルス感染症を中心に～」

講師 かみいち総合病院 看護部 看護師長（感染管理認定看護師）藤井里美氏

3月2日 元気交流ステーション 参加者 28名

(4) 養成研修事業 —ボランティアリーダー研修会・ボランティア養成講座—

ボランティアリーダー等の育成や交流を目的にした研修会や講座を実施した。

第1回 ボランティアリーダー研修会 10月12日 元気交流ステーション

講義 「ボランティアグループの活動課題について」 参加者25名

講師 富山短期大学 健康福祉学科 教授 関好博氏

第2回 ボランティアリーダー研修会 1月12日 元気交流ステーション

講義 「立山町のこれからのボランティア活動について」 参加者24名

講師 富山短期大学 健康福祉学科 教授 関好博氏

第1回 ボランティア養成講座 9月30日 元気交流ステーション

講義 「オンラインで広がる ZOOM 講座 基礎編」 参加者13名

- 講師 NPO法人 PCTOOL 代表 能登 貴史 氏
- 第2回 ボランティア養成講座 10月14日 元気交流ステーション
講義 「オンラインで広がる ZOOM 講座 主催編」 参加者 13名
講師 NPO法人 PCTOOL 代表 能登 貴史 氏
- 第3回 ボランティア養成講座 10月21日 元気交流ステーション
講義 「オンラインで広がる ZOOM 講座 応用編」 参加者 13名
講師 NPO法人 PCTOOL 代表 能登 貴史 氏

(5) ボランティアサポーター設置事業

※(10) 福祉教育養成確保事業に移行

(6) 広報啓発事業

ボランティア活動の啓発・推進を図るため、ボランティアまつりを開催した。ボランティアグループの活動発表や体験コーナー、また登録ボランティアグループの活動紹介パネルの展示を行った。

令和3年度ボランティアまつり 10月17日 町元気交流ステーション 参加者約77名

(7) 児童・生徒のボランティア活動普及事業

推進校8校(小学校6校、中学校1校、高校1校)に活動費助成を行った。

(8) 福祉教育地域指定推進事業

「地域の課題に取り組もう」というテーマに基づき、保育関係者・教育関係者・ボランティアを対象に福祉教育推進セミナーを開催した。また、担当校等との連携学習会の他、町内小学校での出前学習会を行った。

・担当校との連携学習(高野小学校)

5月28日 支え合い活動に関する学習会 元気交流ステーション 5年生23名

6月21日 地域の見守り・安全活動について 高野公民館 5年生23名

⇒ 地域の見守り活動への参画

(コロナ禍のためプレゼント品を準備し地区社協へ贈呈、地区社協が対象者へ届ける)

※その他の関わり

5月25日 支え合い活動に関して 6年生11名

7月9日 避難所設営訓練 6年生11名

・出前学習会

10月7日 手話学習 立山北部小学校 4年生 28名

11月2日 障害学習～バリアフリ～ 立山北部小学校 4年生 28名

11月11日 障害学習～義足～ 立山中央小学校 4年生約100名

11月22日 障害学習～義足～ 立山北部小学校 4年生 28名

12月21日 手話・義足 立山中央小学校 4年生約30名

・福祉教育推進セミナー

- 第1回 福祉教育推進セミナー 6月28日 元気交流ステーション 17名
「令和2年度活動状況報告・令和3年度計画について」
講師：富山国際大学子ども育成学部 教授 村上 満 氏
- 第2回 福祉教育推進セミナー（報告会） 2月24日 元気交流ステーション 29名
報告：高野小学校、立山町社会福祉協議会
講師：富山国際大学 子ども育成学部 教授 村上 満 氏

(9) 災害救援ボランティア活動支援事業

災害救援ボランティアセンターや避難所等の機能について理解を深め、役割分担の明確化など、各地区における災害時の支援体制を強化し、早期対応が可能となること。

・災害救援ボランティア研修会

基礎講義 「災害救援ボランティアセンター概要について」

実地見学 「災害救援ボランティアセンター設置・運営訓練」

令和4年2月8日（火） 元気交流ステーション 参加者 22名

講師 特定非営利活動法人 にいがた災害ボランティアネットワーク

理事長 李 仁鉄 氏

(10) 福祉教育サポーター養成確保事業

町づくりや福祉教育の推進を図ることを目的に、福祉教育サポーターの養成研修会を開催した。また、サポーター設置検討委員会にて、養成・設置に係る意見交換を図った。

・福祉教育サポーター設置検討委員会

第1回 養成計画 5月26日 12名参加

第2回 事業報告・次年度計画 3月9日 11名参加

・福祉教育サポーター養成確保事業（全6回）

受講者 13名中／11名修了 いずれも元気交流ステーション

第1回講座 6月2日

講義「福祉教育の方向性・支え合いの仕組み」

講師 NPO 法人 HUGKUMI 理事長 長井 一浩 氏

第2回講座 7月28日

講義「福祉教育の基本～障害への理解から関わり～」

講師 富山福祉短期大学国際観光学科 教授 鷹西 恒 氏

第3回講座 8月29日 ⇒ 12月19日

フードドライブ活動への参画

第4回講座 10月22日

講義「町内福祉施設から地域との関わりを学ぶ ～社会福祉法人連絡会の来し方行く末～」

講師 前立山町社会福祉協議会会長 清水 清信 氏

第5回講座 11月13日

講義「誰もがつながり寄り添う地域を目指して ～障害や引きこもりを抱える方へのかかわりを通して～」

講師 NPO 法人むげん 理事長 門田 晋 氏
第6回講座（振り返り） 2月14日
講義 「福祉教育サポーターの役割」
講師 富山県社会福祉協議会地域福祉・ボランティア振興課 課長 水井 勤氏

(11) 新型コロナウイルス感染者等生活支援(買物代行)事業

町在住で、富山県中部厚生センターから新型コロナウイルス感染による 自宅療養、または濃厚接触者として自宅待機を求められた方のうち、親族等から支援を受けることができない方に対し、食料品、日用品等の買物代行事業を行いました。

・利用者数 4名 ・ 7 件

7. 居宅介護支援事業

ケアマネジャーによる適切なケアプランの作成、介護給付費の管理

要介護1～5	月平均利用者数	168名
介護予防	月平均利用者数	8名

8. 居宅介護等事業（ホームヘルプサービス）

(1) 要介護認定者への訪問介護	要介護1～5	月平均利用者	20名
	総合	月平均利用者	15名
(2) 障害者への訪問介護	身体障害者	月平均利用者	13名
	知的障害者	月平均利用者	17名
	精神障害者	月平均利用者	45名
(3) 自立支援サービス		月平均利用者	1名

9. 日常生活自立支援事業

高齢者や障がいのある方に対して、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理のお手伝いをするこ
とにより、安心して生活が営めるように生活支援員が援助を行った。

利用者 9名 生活支援員登録者 6名
制度利用等相談件数 11件 相談援助件数 100件

10. 高齢者福祉推進事業

(1) みらいぶくつろぎサロン運営事業

元気交流ステーションに集約されている保健福祉総合機能を活かした誰もが集える常設型のサロ
ンとして、引きこもりの防止や認知予防に関する活動を取り入れたメニューの提案、健康器具等の設
置などを通して、積極的な社会参加、仲間づくり、生きがいくくり、健康づくりの一助となる機会を

提供した。

元気交流ステーション2階大広間 サロン開催日数120日 延べ利用者数 3,680名

(2) 福祉バスを運行し、くつろぎサロンへの送迎及び福祉団体、地区社会福祉協議会等の諸行事の送迎を行った。

運行回数 延べ 96回

利用者数 延べ 503名

1.1. 基金運営事業

(1) 社会福祉事業振興基金の管理、運営

(2) ボランティア基金の管理、運営

1.2. 共同募金配分事業

(1) ふれあいいいききサロンランチ活性化事業

高齢者ふれあいいいききサロン、子育てサロン等に対して講師の派遣を行った。

その他、体操DVD及びリモート講座を開催した。

・講師派遣：ハートビートライフ・オカ インストラクター他 延べ27回派遣

(2) 支えあい（防災）マップづくり事業

住民同士のふれあいや支え合い活動を地図上に可視化するマップ作り及びその活用研修会を開催し、地域住民の支え合いの実績や生活上の問題を具体的に把握し、共助の仕組みを検討した。また、作成したマップの効率の良い活用を促すため、防災の視点を取り入れた。

・支えあいマップづくり巡回研修 3地区

講師：NPO 法人明日育 常務理事 長井 一浩 氏

利田地区 7月 3日 利田公民館 参加者26名

下段地区 7月10日 下段公民館 参加者12名

大森地区10月30日 大森公民館 参加者26名

(3) 社会福祉協議会だより「そよかぜ」の発行

年6回（奇数月） 全世界配布

(4) 地域福祉・ボランティア活用啓発事業

町社会福祉協議会啓発パンフレットを更新・作成した。

(5) ふれあい食堂運営事業

多世代交流促進、居場所づくりを目的に町内9地区社会福祉協議会と連携して開催した。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、テイクアウト型で開催。

・ふれあい食堂運営事業

利田地区 7月24日 利田公民館 24名 上段地区 7月26日 日中上野公民館 30名

東谷地区 8月 1日 谷口公民館 16名 下段地区 8月 1日 下段公民館 74名

釜ヶ淵地区11月3日 釜ヶ淵公民館109名 立山地区11月14日 岩嶺公民館 48名

高野地区11月20日 野沢運動公園24名 大森地区 大森地区内小学生 129名

新川地区12月24日 新川公民館 24名

計 約478名 (スタッフ除く)

(6) 地域歳末たすけあい助成事業

町内10地区社会福祉協議会へ助成し、歳末時期に合わせて、見守り訪問や3世代交流等の推進を図った。

1.3. 生活福祉資金貸付事業

(1) 生活福祉資金貸付事業

低所得者世帯等へ生活福祉資金等の貸付・相談を行った。

新規相談件数 5件 取扱件数 11件 継続相談件数 29件

新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した世帯へ貸付・相談を行った。

貸付決定件数

緊急小口資金 38件 総合支援資金 26件 総合延長 6件 総合再貸付 20件

貸付総額 3,127万円

(2) 生活困窮者自立促進支援事業

富山県東部生活自立支援センターと連携して、経済的に困窮し、最低限度の生活を維持することができなくなるおそれのある者に対し支援を行った。

町報や社協だより「そよかぜ」に相談日を掲載し広報に努めた。

1.4. 出逢い応援事業

サポートセンター「おむすびくらぶ」を設置し、結婚相談や情報交換を通して出逢いの場を提供し、結婚への支援を行った。

・センター運営体制

推進委員15名 支援員24名(プランナー8名・アドバイザー10名・サポーター6名)

センター長1名(社協事務局長兼任) コーディネーター1名(社協職員兼務)

登録会員196名(内訳:男性119名・女性77名 3月31日現在)

※推進委員会の設置

円滑な運営と効果的な事業推進を図るために設置

立山町内で活躍する企業や団体、支援機関、学識経験者及びその他会長が必要と認めた者で組織し、立山町社会福祉協議会会長が委嘱するものである。

※支援員の配置

支援員は、地域活動に参加している者で、結婚への支援及び地域の担い手育成に理解と関心を持ち、その役割遂行に支障のない者を立山町社会福祉協議会会長が委嘱する。

・結婚相談日の開設

アドバイザーによる結婚相談を第4木曜日午後、第1・第3土曜日午前・第1・3木曜日夜、第2・第4火曜日夜に開設し、登録会員への結婚相談等に応じる。

元気交流ステーション相談室 相談件数(窓口) 62件

(電話) 84件

マッチング 24件

・成婚カップル 1組(累計7組)

・推進委員会の開催 関係機関への広報啓発及びセンターへの指導助言

第1回推進委員会

7月20日 元気交流ステーション 参加者 8名

第2回推進委員会(報告)

3月 2日 元気交流ステーション 参加者 7名

・支援員研修会及び情報交換会の開催 結婚支援に対する必要な研修(婚活支援、情報セキュリティ、コミュニケーション等)を開催し、支援員の資質向上を図り、支援員間の情報共有の場を提供

第1回支援員情報交換会

4月27日 元気交流ステーション 参加者21名

第1回全体研修会

7月20日 // 参加者20名

第2回支援員情報交換会

7月20日 // 参加者17名

第3回支援員研修会

11月10日 // 参加者15名

第4回支援員情報交換会

12月20日 // 参加者18名

第2回全体研修会

2月17日 // 参加者17名

・事業啓発イベントの開催

春イベント：WパークDE交流会

5月15日 30代対象 グリーンパーク吉峰 参加者14名

男性向けコミュニケーション講座（イベント参加者必須）

動画配信 11月1日～11月10日

秋イベント：みらいぶアフタヌーンティーパーティ① 11月27日 20代～30代対象

元気交流ステーション 参加者10名

みらいぶアフタヌーンティーパーティ② 11月28日 30代～40代対象

元気交流ステーション 参加者16名

冬イベント：女性限定イベント

「おむすび女子会～マリッジカフェ～」

2月20日 20代～40代独身女性限定

元気交流ステーション 参加者17名